

< コロナ禍における私幼団体の実態調査 >

堺市

1. コロナ禍での行政とのやり取りがどの様に行われているか

堺市とは所管の異なる私学助成園にも新制度園と同様に市内コロナ関連の情報が提供されるように要望した結果、主旨を理解し実行されている。

2. 各政令市で感染者が出た時に、市がどこまで発表して、私幼団体がどこまで、どのように加盟園に伝えているか

市内公立の学校・園については施設名を公表するが、私立学校・園に対しては風評被害などを鑑み施設名は発表せず地域及び感染者数のみの公表にとどめる。

3. 研修会をどの様に行っているか

大阪府私立幼稚園連盟が主催するバーチャル研修会に参加することができるが、堺私幼連の独自研修は12月1日(火)開催予定の『第39回堺市私立幼稚園 PTA 連合会研修大会』のみである。

4. 予算が執行できない状況でどのように処理する予定でいるか

会務運営予算については次年度繰り越しとする方向で検討している。

5. 就職に向けての学生とのつながりをどの様にとらえているか、また実行しているか

団体一律に対応することにも限界があり、各園が独自に模索している。